

令和 5 年度「長崎県教育委員会服務規律強化月間」実施結果報告書

所 属 名	佐世保市立歌浦小学校	作成者	職名	教頭
電話番号	(0956) 77-5146		氏名	桑原 功次
1 年間の実施内容 (取組状況・実績等)				
4 月 5 月	実施テーマ	「わいせつ行為・体罰の禁止・個人情報漏洩の防止」 ○校内研修及び現職教育（事例研修）を実施した。 ○体罰根絶に向けた自分の取組を「業績評価票」に明記し、日々の指導について見直しを行った。 ○個人情報管理のため、USB の貸し出し名簿を作成し、外部に持ち出すときには押印するなど管理を徹底した。また、USB のウイルスチェックの方法を確認した。		
<u>取組の評価・改善点</u> ・わいせつ行為の事例研修や自身の振り返り（心と性に関するチェックシート）を実施した。また、職場の危機管理「7つの行動指針」を共有したことで、本校からは絶対に不祥事を出さないという職場の連帯感が高まった。 ・USB のみならず、SD カードに関してのウイルスチェックによる情報管理に向けて、管理職による指導を定期的に行い職員全体の危機意識が高まった。				
8 月 9 月	実施テーマ	「体罰・ハラスメント行為の禁止、適切な情報管理」 ○外部講師を招聘し現職教育（アンガーマネジメント研修）を実施した。 ○「報告・連絡・相談」を徹底することで、風通しの良い、働きやすい職場環境作りに努めた。		
<u>取組の評価・改善点</u> ・本校のスクールカウンセラーによる講義と演習を交えた研修を実施した。体罰はもとより不適切な指導（行き過ぎた指導）の定義を共有し、アンガーマネジメントや複数の職員による指導を徹底するなど、対応策を考えた。また、精神的な疲労がにくたいて身体的な疲労に繋がる仕組や自身の感情や心理をコントロールしていくスキルを学んだ。 ・働きやすい環境づくりが、職員自身の心身の調和を保つことに加え、ハラスメント防止に繋がるという視点を共有した。チームで対応していく組織力が高まり、日々の業務に生かされている。				
7 月 12 月	実施テーマ	「飲酒運転の根絶・金銭の適切な処理・信用失墜行為の禁止」 ○校内研修及び現職教育（事例研修）を実施した。 ○学級費等の金銭処理は、同学年・隣接学年で監査できる体制をつくる。		
<u>取組の評価・改善点</u> ・R2.2 県教委作成資料「不祥事根絶のための研修資料」をもとに、全職員で研修を行った。個人情報漏洩に関する演習問題を行い、情報管理に向けた組織的な対応を考えたり今後の対策に向けた見通しを共有したりして、再認識することができた。 ・職場内の事例の有無について振り返り、金銭や情報管理や処理対応の方策を共有した。 ・長期休業中においても飲酒運転禁止や信用失墜行為の禁止について指導を行った。特に職場での飲み会の席でも、公共交通機関での帰宅、自家用車での帰宅者はノンアルコール飲料の提供を全員で確認し、催事を進めていった。				

2 服務規律委員会									
委員会名	歌浦小学校服務規律委員会								
構 成 員	所属内委員（ 5 名）、外部委員（ 1 名 役職等：PTA 会長 ）								
3 年間を通しての計画の達成状況									
年間を通しての取組状況チェックリスト									
(1) 校内研修の実施方法については、職員会議等での管理職員からの指導のみではなく、別表のような工夫を取り入れながら研修内容の充実を図ることが求められます。取り入れた工夫を別表の記号（ア～コ）で回答ください。（複数回答可）									
ア	イ	ウ	エ	オ	カ	キ	ク	コ	
その他（ア～コ以外で研修に取り入れた工夫があれば記入ください。）									
(2) 不祥事根絶に向けた職員の意識が維持・継続されるような心に届く取組ができたか。 ※ 該当する項目に○を記入ください（以下同じ）。									
() できた		(○) 概ねできた		() 少し不十分		() できなかった			
(3) 職場の連帯強化と働きやすい職場環境づくりに繋がるような取組ができたか。									
(○) できた		() 概ねできた		() 少し不十分		() できなかった			
(4) 心と性に関する自己分析チェックシートは正直に回答できる環境下で実施されたか。									
(○) できた		() 概ねできた		() 不十分だった		() 実施していない			
資料添付						有 ・ (無)			